

2012年度 兵庫県青年洋上大学同窓会 第二回地区代表者会 報告事項

日時：2012年10月13日 土曜日 13時30分 から 10月14日 日曜日 13時00分

場所：神戸セミナーハウス 第五国際セミナー室 | 3時~17時00分迄

出席者：兵庫県青年洋上大学同窓会役員並びに地区役員、事務局員 顧問

審議内容：

1. 兵庫県青年洋上大学同窓会 会長挨拶
2. オリエンテーション
3. 議長選出 副会長 山下さん
4. 審議 | 13時50分~

出席者 議決権 13分の12で成立(委任状含む) 敬称略

会長	大家	副会長	山下	中川	会計長	木村
		事務局長	新庄			
神戸地区	春名	阪神地区	井上	但馬地区	村上	
			近藤			
丹波地区	方山	淡路地区	土井	東播磨地区	大加茂	
西播磨地区	原	監事	芦谷	顧問	高橋	
	長谷川					
事務局	河原			青少年本部		毛勝
				青少年本部理事		

①兵庫県青年洋上大学同窓会 2012年度 上期事業報告

別紙参照 平成24年度 上期事業報告

②兵庫県青年洋上大学同窓会 2012年度 上期会計執行状況報告

③兵庫県青年洋上大学同窓会 2012年度見直し予算 決議事項

承認

④兵庫県青年洋上大学同窓会 本部役員の追加

副会長 神戸地区 兵庫6回生 村上友江さん

承認

⑤兵庫県青年洋上大学同窓会 40周年記念式典について 事業計画

・兵庫県青年洋上大学同窓会 40周年記念式典
日時：2013年1月6日 日曜日 18時から21時予定
場所：ばいふいっくびいなす メインラウンジ メインダイニング

・兵庫県青年洋上大学同窓会 40周年記念事業

⑥仮称 兵庫県青年洋上大学同窓会40周年実行委員会の設置 報告

⑦兵庫県青年洋上大学同窓会 規約改正 決議事項

承認

・会員について
・同窓会 会則 細則について 地域活性化事業補助金規則
兵庫県青年洋上大学同窓会会計規則

※審議休憩中、兵庫県青少年本部殿を交えて記念写真を撮影
18時30分より 夕食・懇親会を開催

・21時より ラストサムライ上映予定でしたが、同窓会archiveの上映会に変更致しました。

2012年10月14日 日曜日

ワークショップ『グループが発展するために』

日時:2012年10月14日 日曜日 9時から12時迄
場所:阪急六甲から西宮北口経由阪急今津線で宝塚へ

参加者: 大家 山下 中川 村上 春名 土井 井上 近藤 原 長谷川 大加茂 村上友江
河原 芦谷 新庄

グループが発展するために

Yodal Hwgo 洋大セミナーⅣ

兵庫県青年洋上大学同窓会 セミナーⅣ

グループが発展するために

神戸セミナーハウス
2012年10月14日
兵庫県青年洋上大学同窓会 新庄

Yodal Hwgo 洋大セミナーⅣ

兵庫県青年洋上大学同窓会 セミナーⅣ

テーマ

- ①楽しくチームづくりを
- ②全員参加のワークショップを
- ③コミュニケーションについて考えて見る

Yodal Hwgo 洋大セミナーⅣ

グループが発展するために

3つの要素

今回は活動に焦点を当て
考えていきます!

ひと
活動
研修

Yodal Hwgo 洋大セミナーⅣ

洋上大学同窓会(以降洋大同窓会)の活動の考え方

話し・出る
研修・集約
発表・発表会
実行・共有

好循環の活動システムを構築します

チームとは
ひと → グループ → 仲間 → チーム

活動について
①チーム → ②話し合い → ③研修(学習) →
④懇親 → ⑤実践 → ⑥改善 → ①へ



プロジェクト・アドベンチャー

1. 1分間ゲーム(こころの声を聞く)
2. 教合わせ ふたりで足して「7」と「11」になる
3. 運命のひと 握手で(1~3)
4. ネームパス(ボールを投げる○○さんへ)全員に行き渡る様に
5. ラインナップ(誕生日)
6. グルーピング(食事のタイプ/血液型)
7. パルントロリー(チームで風船を人数分 背中とおなかで押さえて移動する)
8. 橋(トイ・ストーリー) チームで玉を選ぶ
9. ネームパス
10. 魔法の結晶
11. 日本放送
12. ビーイング(Being) チームで手形を書き 手形の肉質 外質 名刺(サイン)を記入する
 内側:一人ひとりが安心して活動できるように必要なこと
 外側:このことがあると安心して活動に臨めないこと



課題

ブリッジ・ビルディング

グループの課題は、与えられた新聞紙1日分を用いて、机から机の間(120cm)をつなぐ橋を作ることです。橋はできるだけ強く(ミニカーの重さに耐えられること)、形が美しく、名前があることを求められます。プレゼンテーションは各グループの発表の時間は1分です。プレゼンする人を1名決めて下さい。プレゼンの際には、橋の名前と特徴(アピールポイント)を伝えて、その後ミニカーを橋に乗せて強度をアピールして下さい。

ルール

1. 材料は、新聞紙1日分 ホッチキス セロテープ のり はさみ マーカ
2. どの様な橋をどの様に作るかを話し合う 15分
3. 橋の製作 25分
4. プレゼンテーション 1分

学習の流れ



1. 導入 5分
はじめに ねらい 進め方の説明 チーム分け
2. 課題とルールの提示 5分
課題とルールの提示 材料と工具などの配布
3. 実習の実施 50分→ 打合せ10分 制作25分
個々のチームで話し合いと橋を作成する
4. 各チームの結果発表 プレゼンテーション 10分
各チームから橋のアピールとミニチュアカーの移動
5. ふりかえり 30分
個人記入 チームでわかちあい 全体でわかちあい
6. 小調査 10分
学びをより明確にするために



ブリッジ・ビルディング



学習のねらい

チームで課題を達成する際に起こるさまざまな事柄(グループプロセス、コミュニケーションの仕方、リーダーシップのあり方、意思決定の型など)に気づく。

学習の内容

チームで話し合いミニチュアカーが渡ることのできる橋を作成する。
併せて橋のアピールや名前をプレゼンすることである。



ブリッジ・ビルディング

活動風景



ビーイング → 風船列車・・・